

	エコ・ファーストの約束	2025年度実績	取り組みの詳細 (HPリンク先)
1 SKG-5R 活動を通じて、 資源循環社会の構築に向けた 取り組みに注力	使用原料をバージン原料からリサイクル原料または生分解性・ バイオマス由来原料に置き換え ★2030年度目標：50%以上	リサイクル・バイオマス原料使用比率：19%	📄 リサイクル・バイオマス原料使用比率実績 TCFD に基づく情報開示
	プラスチック資源循環法(特例)認定取得を通じて、発泡 スチロールの再資源化活動を全国に展開し、発泡スチロール のリサイクルを推進	2024年3月にプラスチック資源循環促進法に基づく自主回収・再資源化事業 計画の第3号認定を取得し、発泡スチロールの自主回収・再資源化事業を スタートしました。2026年3月末現在、1都1府13県の対象地域(日本人口 の約63%に該当)で認定を受け、自主回収・再資源化活動を推進しています。	📄 自主回収・再資源化事業計画の認定取得 📄 発泡スチロール自主回収活動地域拡大 📄 再資源化量実績 統合報告書 2026
	サステナブル・スタープロダクト(環境貢献製品)の創出と 事業拡大 ★2030年度目標 登録累計：100件 売上高比率：50%	サステナブル・スタープロダクト(環境貢献製品)登録累計：60件 サステナブル・スタープロダクト(環境貢献製品)売上高比率：21%	📄 サステナブル・スタープロダクト(環境貢献製品) 📄 環境情報開示(環境データ) 統合報告書 2026
	オフィスでの分別回収を行い、再資源化を推進	オフィスでのごみの分別回収と再資源化に積極的に取り組んでいます。	🔗 次ページ参照
2 カーボンニュートラルの実現に 向けた取り組みを促進	TCFD 提言に賛同し、脱炭素社会の実現に向けて気候 変動対応を強化するとともに、情報開示の充実を図る	TCFD に基づく情報開示(2026年度)	📄 TCFD に基づく情報開示
	事業活動ならびに製品やサービスのライフサイクル全体で、 エネルギー使用量の削減と資源の有効活用を行い、 2050年度カーボンニュートラル(CO ₂ 排出量を実質ゼロ) を実現	2030年度までに2018年度比でGHG(CO ₂)排出量(Scope1.2)を 45%以上削減する目標を掲げ、削減に取り組んでいます。 GHG(CO ₂)排出量：29%削減(2018年対比) ※2030年度目標を2024年度に前倒しで達成しました。 2025年4月、挑戦的な目標として45%以上削減を再設定しています。	📄 GHG(CO ₂)排出量(Scope1.2)削減ロード マップと実績 📄 GHG(CO ₂)排出量 (Scope1.2.3[カテゴリー 1.12])の第三者保証
	温室効果ガス排出量への取り組みに関する情報について 開示 (Scope1.2.3)	温室効果ガス[GHG(CO ₂)]排出量(Scope1.2.3)合計：1,122Kt-CO ₂ e	
3 持続可能な社会の実現に貢献 すべく、環境配慮型経営を実施	環境マネジメントシステムの実施、環境関連の情報開示を 充実させるとともに、社会とのコミュニケーションや 相互理解に努め、環境配慮型経営を促進	環境関連情報の開示を充実させ、環境配慮型経営を推進しています。	📄 統合報告書 2026 📄 環境情報開示(環境データ) 統合報告書 2026 📄 ISO14001 取得状況
4 環境教育や環境保全活動など の社会貢献活動を推進	環境モデル事業所でのリサイクル施設見学受け入れや、 出張型環境授業の実施による地域への環境学習の機会 提供、従業員への環境教育や啓発を継続的に実施	環境保全の取り組みを紹介する発信拠点「ECO アクションギャラリー」を 活用し、広く一般の方々に見学いただける機会を提供しています。 また、幼稚園児から小学生に加え、新たに中学・高校生まで対象を広げ、 出前授業を実施しています。2025年度は大阪・関西万博でも出前授業を 行いました。 さらに、従業員向けには環境大会を開催し、環境教育や啓発活動にも 取り組みました。	📄 ECO アクションギャラリー 📄 体験型ワークショップを開催 🔗 次ページ参照
	社内に設置した社会貢献委員会を中心に、従業員に よる地域清掃活動や、里山保全など環境保全活動へ の積極的な取り組みを継続	従業員による地域清掃活動や里山保全など、環境保全活動への積極的な 取り組みを継続しています。	📄 自然環境の保全 📄 自然環境保護活動に参加

SKG-5R 活動を通じて、資源循環社会の構築に向けた取り組みに注力

オフィスでの分別回収を行い、再資源化を推進

【オフィスでのごみ削減とリサイクルへの取り組み】

当社グループは、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現を目指し、オフィスでのごみの分別回収と再資源化に積極的に取り組んでいます。

1. オフィスで発生するさまざまなごみを、迷わず分別できるよう工夫しています。
2. 回収された紙類やペットボトル、発泡スチロールは再資源化しています。
3. 社内回収した発泡スチロールは、回収量を定期的に掲示し、従業員のリサイクル意識向上を図っています。



事例紹介：大阪本社

環境教育や環境保全活動などの社会貢献活動を推進

従業員への環境教育や啓発を継続的に実施

【従業員への環境教育】

従業員への環境教育の一環として、環境大会を開催しています。

2025年度は、勉強会に加えて「環境クイズ大会」や、環境への取り組みに対する表彰を行いました。



環境大会：勉強会・環境クイズ大会